

質問回答

NO.	質問	回答
1	運航事業者が減少した場合の対応について 空飛ぶクルマの騒音の測定業務において、測定対象とする飛行場等は4箇所程度とありますが、仮に運航事業者が減少した場合には、どのような対応になるのでしょうか。 実際に飛行する飛行場等での測定期間を増やすことによる対応が好ましいのではないかと考えました。 その理由としては、指定された飛行場等および測定地点はすべて海岸縁で、気象状況の影響を受けやすいと想定されることから、同一地点の複数回測定により、さらに有効なデータが得られるものと思います。	仕様書に記載の通り、環境省担当官と協議の上、ご提案の対応も含めて検討してまいります。また、回数の増減が生じた場合には、変更契約を行う場合があります。